



平成28年度 学校だより

緑 柏

No. 138

長崎県立佐世保南高等学校

平成28年 9月30日発行

発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

第68回南高祭

校長 松井 裕次

天気予報

体育祭が近づくにつれ、テレビやネットの天気予報を夜通しチェックした。予報の精度が上がれば、判断の精度も上げたいものだ。気象庁の台風情報は3時間毎、接近すると1時間毎の発表になる。民間気象会社や報道機関が発表する台風情報はすべて気象庁発表に基づいた同じもの。頭では分かっているのに、チャンネルを送り、マウスを叩き、雨雲の動きを追いかけている。台風進路予想図は米軍や中国・香港・台湾のものまでネットで見る事ができる。少しでも体育祭の日曜開催に有利な情報を探そうとした。挙げ句の果ては、テレビの前で居眠りし、夢の中まで天気予報が出てくる始末。天変地異が続いている。被害がないことを祈るばかり。

大団円

体育祭は平日開催となった。日曜開催を楽しみにされていたご家族は、さぞ残念な思いをされたことだろう。すべてのご家族に、南高大行進に始まる大きな声、きびきびした動き、走りきった表情、魂の演舞、工夫を凝らした装飾、はじける笑顔を見てもらいたかった。その随所には、南高生らしいウイットに富んだ「遊び心」を見ることができた。それは単にユーモラスな振る舞いだけを言うのではなく、若者らしい発想力が生み出す知的な面白みと言えるものだ。

競技・演技は、序盤から「青」がリードし、続く「赤」、その後を「黄」が追う展開となった。「赤」は各部門とも僅差でトップを逃し結果的に賞状には届かなかったが、総合では見事準優勝。誰もが「赤」に労いの拍手を送った。そして最大の感動は閉会式・解団式の後に待っていた。悔しさの残る真ん中の「赤」を大きく包み込む様に左右の「青」「黄」がつながり始めた。最後は南高生が一つの円になり、グラウンド一杯に広がる「大団円」を見ることができた。それは大き過ぎて私のカメラに納めることができなかった感動の瞬間だ。

思いやりの連鎖

弁論大会で松下紗奈さんは、「想像し行動に移す勇氣を持つことが大切だ。人を思って行動することは、いつか必ず相手に伝わり、思いやりの連鎖をもって返ってくる」と述べ、心配するだけでなく行動することの大切さを教えてくれた。今回、南高祭を自分たちの力で成功させようという実行委員会の「思い」は、ステージにも展示にも、南高生の懸命な姿、感謝とおもてなしの心となって表れた。また、「ステージは観客が創る」と言われるが、思いやり溢れる南高の観客が素晴らしい。正に思いやりの連鎖を見る思いだ。それらは、女子バレー部の石隈志帆さんが言う「ラインジャッジの伝統」の様に引き継がれていくにちがいない。

エンディングの群読を受けて、山下春香文化祭実行委員長が、「この学舎に注がれた多くの人の愛と伝統に恥じない生き方をしよう」、「誰かに愛を注げる人に、未来へいざなう道標になろう」と、新たな波を発信して結んだ。未来への思いやりの連鎖が、ここ南高から限りなく広がっていくことを願っている。

体育祭の飲料水販売、文化祭のバザー・カレー・喫茶を担当された育友会の皆様に心より感謝申し上げます。

28年度 南高祭を終えて

○体育祭

9月4日(日)に開催予定であった体育祭は、台風12号の影響により9月6日(火)に延期となりましたが、当日は、すばらしい天候に恵まれ無事に開催することができました。今年度は「みなみ～魅せろ南高魂(ココロ)のWAVE」のテーマのもと、各ブロックが熱戦を繰り広げ、南高生としての熱い魂を魅せてくれました。その結果、Aブロックが総合優勝を勝ち取りました。その他のブロックも舞踊コンクールや応援合戦、南高大行進やパネルなど様々な分野において、3年生を中心に良く団結し、各ブロックとも創意工夫を凝らしたものを作り上げてくれました。解団式では、各ブロック長が生徒たちに感謝の意を伝え、最後にはブロックの垣根を越えて全校生徒が一円になり、そこに先生方も入り、大団円で終わることができました。この体育祭で見せてくれた学校の勢いを、3年生は受験に向けて、1・2年生は今後の生活に活かしてほしいものです。



コ コ ロ
南高魂



○文化祭

「みなみ ～魅せろ 南高魂（ココロ）の WAVE～」をテーマに掲げた文化祭。文化部・クラスによるステージ部門・展示部門の発表に加え、恒例となった佐世保特別支援学校和太鼓部による実演などがおこなわれ、例年以上の盛り上がりを見せました。熊本震災に係る募金活動については、多くの方々にご協力をいただき、育友会の方々、家庭部による食物バザーや出店も大変好評でした。

企画の中心となったのは2年生を中心とした文化祭実行委員でした。少子化が進む30年後の生徒達が、同窓会の中で今年の文化祭を思い出す、という劇をまじえたオープニングは、その独創性には目を見張るものがありました。エンディングでは、「今、在学中の生徒一人ひとりの思いは小さなものであっても、皆の思いを一つにし、さらに卒業生の方々の思いも受け継ぎ、未来へ向かう大きな『みなみ』として伝えていきたい」という気持ちを共有し、南高の伝統とともに前進していく決意を固めました。

文化祭の開催に際しては、近隣地域の皆様方、育友会・柏葉会の皆様方に大変お世話になりました。ご指導とご援助を賜りましたことを心より感謝申し上げます。



○卒業生による進路講演会

9月15日に卒業生を向かって進路講演会を本校体育館にて開催いたしました。本校卒業生の65回生2名と68回生9名の計11名に講師として参加していただきました。1・2年生の事前アンケートの質問に基づいて、それぞれの所属学部・学科の研究内容を説明、苦手科目の克服法、各教科のお勧め学習法、学年別の学習法等、多岐にわたるテーマについて講演をいただきました。講演実施後の生徒アンケートも全体的に満足度が高く、特に1年生の「大変ためになった」と「ためになった」を選んだ生徒の割合は99.5パーセントでした。生徒にとっては、とても有意義な講演会になったようです。

～生徒の感想～

(1年)

・時間の使い方次第で、勉強の効率もより上がると先輩方のほとんどが言われていたので、もう少し自分の時間を見直し、無駄を削って時間を有効活用させていこうと思いました。

(2年)

・今からでも先輩方が言われたことを実践して、今までダメだった自分を変えてこれから頑張りたいし、センターでいい点数をとれるように授業態度や家庭での生活でも頑張りたい。

3県交流コンサート2016

9月17日(土)に熊本市の“びぶれす広場”で開催された「3県交流コンサート2016」に本校吹奏楽部が初めて参加してきました。熊本地震復興支援が目的で開催されたコンサートでしたが、出演した各団体の演奏はそれぞれに工夫をこらした素晴らしいものばかりでした。ジャズや演歌メドレー、コマーシャルソングや子ども向けの曲などプログラム構成が良かったのか大変喜んで頂きました。また、文化祭で行った熊本支援の募金を直接お渡し出来たことも良かったと思います。聴衆の中に本校16回生のご婦人がおられましたが、非常に感激され生徒にも声をかけてくださったことは大きな喜びでした。さらには、他団体の技術の高さやサウンドの素晴らしさを学ぶ絶好の機会にもなり、こうしたチャンスをうまく生かして今後の活動を充実させたいと思います。



○10月の行事予定



- 1日(土)～3日(月) 秋季休業
- 3日(月) 桜が丘特別支援学校との交流学习
- 4日(火) 後期始業式
- 5日(水) センター100日前集会 地域清掃活動
- 8日(土) 佐世保特別支援学校文化祭での交流会
- 8日(土)～10日(月) 国際大通い合宿(3年)
- 14日(金) 人生の達人セミナー
- 17日(月)～28日(金) 公開授業旬間
- 19日(水) 芸術鑑賞会
- 25日(火)、27日(木)、28日(金) 乳幼児ふれあい体感事業(1年)
- 26日(水) 薬物乱用防止教室

